

ペレニアルライグラス オーバーシード(ウィンターランジッション)

【 作業要領 50㎡モデル 】

ポイント : 風のない日に 大雨の予報のない時に

1. 播種量

オーバーシードは30g~50g/㎡ (甲子園球場)

$$40\text{g}/\text{m}^2 \times 50\text{m}^2 = 2\text{kg}$$

予算 @¥3,990/kg × 2kg = 7,980円 (1㎡当り約160円) ※税込、送料別

2. 播種時期

発芽適温18℃~22℃ 農業では昔から“彼岸に種播け”と言われています

9月中旬~10月上旬

3. 撒き方のコツ(手順、要領)

(1)ティフトンを可能な限り低刈りする。芝刈機的能力によるが床地が見える程度でも可。

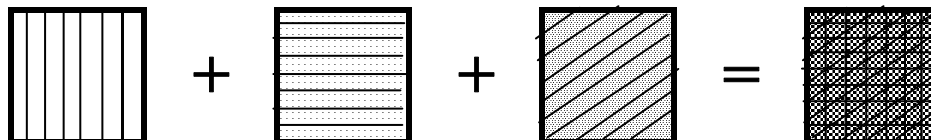
(2)種子を計量 手直し追播き用に少し残して保管

$$35\text{g}/\text{m}^2 \times 50\text{m}^2 = 1.75\text{kg} (0.25\text{kg} \text{残す})$$

(3)増量材で増量1㎡に35g均等に播くのは至難のため、ピートモス、バーク堆肥等、種子と比重の近いもので約100倍≒200リットルに増量してよく混ぜる

理由: 保湿、発芽率アップ、色付けにより均一作業が容易になる

(4)これをタテ、ヨコ、斜め“少量多回数”で均一に。指間から肘高辺りから



(5)覆土 3~5ミリ厚の砂で目土。保水、発芽促進、種子のズレ流亡防止

(6)散水 シャワー状にやさしく(鉄砲水で種子や覆土をずらさない)

(7)発芽まで5日→新芽の2週間毎日1~2回散水、湿状態を維持します
※ぬるま湯散水が可能であれば発芽率は飛躍的にアップします

(8)3週目で位で30~50ミリ高になり、40mm↓35mm↓30mm↓と刈るごとに刈高を下げます
※当分の間ははティフトンと混在し、寒くなればティフトンは休眠に入り、ライグラスのみとなります

〈注〉①大面積の場合は、床地にバーチカル(垂直に刃を入れる)筋を入れて種子のズレ止め、目土の節約乾燥防止等をおこなうことがあります

②計画地以外に種子が飛ばないように、フィルムシート、コンパネ、ダンボール等で境界養生します

③発芽不十分、播きムラに対し同じ要領で追播きして下さい